

みどりとともに

第 33 号

2017 年 1 月 1 日

一般社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ	2
石岡市における落石防止工事の実施について	3
東海村の『黒松林』を守る	4
若手の育成と林業の振興を目指して	5
協会だより	6~7
治山・林道関係コンクール審査委員会開催 平成28年度日本林道協会通常総会及び治山・林道コンクール表彰式	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(一社)茨城県治山林道協会会長 三 次 真一郎



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、全国的に大規模な災害が多発し、昨年は台風をはじめとした豪雨が北海道や岩手県において甚大な被害をもたらしました。さらに、先般の熊本地震では、未曾有の山地災害等が発生し、その後の集中豪雨等により、更に被害規模が拡大しました。

森林は、このような災害から国土を保全すると

ともに、地球温暖化の防止や水資源の涵養をはじめとする様々な公益的機能を有し、これら機能を十分に発揮させるためには森林を健全に整備・保全する必要があります。この基盤となる林道の整備や治山事業を推進することは極めて重要であります。

当協会といたしましては、治山・林道事業に関する専門的知識・技術を有する私どもの役割を十分に認識し、今後とも新しい知識の習得と技術の向上に励み、各事業が効率的且つ円滑に推進できるよう努めて参る所存であります。

今後とも、なお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 井 上 計



新年あけましておめでとうございます。平成29年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと熊本地震をはじめ、台風に伴う北海道、東北の大雨など全国各地で大規模災害が頻発した一年でありました。森林はこうした自然災害から県土を守るほか、水源の涵養、地球温暖化の防止など、多面的機能を有し、県民の生活に重要な役割を果たしております。

このような県民共有の財産である森林を適切に管理し、林業・木材産業を活性化させるため、県では、森林・林業行政の基本方針である「茨城県森林・林業振興計画（2016～2020）」に基づき、緑の循環システムによる林業・木材産業の成長産業化と機能豊かな森林づくりを目指し、必要な施策に取り組んでいるところです。

まず、森林の整備につきましては、引き続き、

森林湖沼環境税などを活用しながら、荒廃した森林の間伐を進めてまいります。一方で、本県の人工林の多くが本格的な利用期を迎えていることから、主伐による森林資源の活用と伐採後の再造林を進めてまいります。

また、県民の生命・財産を守る治山事業につきましては、山地災害の危険性の高い箇所から優先的に対策を講じてまいりますとともに、東日本大震災の津波により大きな被害が生じた沿岸部におきましては、「目指すべき堤防高」を踏まえ、防潮護岸の嵩上げなどの整備を進めてまいります。

さらに、林業の生産基盤である林道などの路網の整備を積極的に進めており、大子町と常陸太田市を結ぶ「奥久慈グリーンライン林道水根持方線」につきましても、今年度末の完成を目指し、整備を進めてまいります。これらの施策の推進にあたりまして、皆様方のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

石岡市における落石防止工事の実施について

茨城県県南農林事務所

1.はじめに

近年は、大規模な地震や想定をはるかに超える集中豪雨等により、全国的に自然災害が多発しております。

このような中、当事務所管内の石岡市染谷地内の山林において、度重なる降雨等の影響により、山腹斜面に散在する転石や風化剥離した露岩の落石の危険性が高まっていたことから、平成25年度から落石防止工事を実施しておりますので御紹介いたします。

2.現地の状況

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、市の北西部から南部の市街地にかけては、なだらかな丘陵地となっており、市北部から東南端へと流れる恋瀬川は、日本第2位の湖の面積を持つ霞ヶ浦に注いでおります。

施工地周辺は、市の南部にあり、直下には、市営の霊園や神社、人家が点在するとともに、「龍神山山麓ふれあいの森」として、森林散策を楽しむ多くの入山者がいます。こうした中、ひとたび落石が発生すると、甚大な被害が発生するおそれがあることから、地元から落石の予防を含めた早期の対策が望まれておりました。

3.工事の状況

施工地は、部分的に急崖な岩盤が側壁を形成して分布し、側壁沿いには浮石化した不安定な岩塊や転石が点在しておりました。また、山腹斜面の高低差は約120mで、斜面下位は比較的緩いが、上位は40～50°と急峻で、斜面上位の急峻な箇所が落石の発生源となるおそれが高い状況にありました。また、林内にはクヌギやシイなどの高木性の広葉樹が点在し、根系による斜面安定効果が期待できることから、これらを伐採せずに施工できる工法とし、平成25年度から

5年計画で固定工（ロープ伏工）を約0.55ha施工することとし、現在、早期完成に向けて工事を進めております。



施工地の全景

4.おわりに

治山事業は、自然災害により荒廃した森林の再生や災害の発生のおそれのある箇所の保全・整備を実施することにより、県土や人命、財産を守るために行うものです。

当事務所では、今後も地域と連携を図り、県民の皆様の安全で安心できる豊かな暮らしの実現に向けて取り組んでまいります。

5.あとがき

施工地は、散策路や展望台が整備され、紅葉の季節には、ヤマザクラやクヌギがきれいに色付き、風光明媚な景色が御覧になれます。お近くにお越しの際は、是非とも足をお運びください。



固定工設置状況

町から
村から

東海村の『黒松林』を守る

東海村 建設農政部 農業政策課

東海村は、昭和 30 年に旧石神村と旧村松村が合併し誕生した村です。村の総面積は 3,748 ha、内森林面積は 481 ha で林野率は 12.8%です。国有林は 0.16 ha、民有林は 480.51 ha で、その内人工林は 262 ha ありますが各地に分散されています。

人口は 37,702 人、世帯数は 14,556 世帯で林業経営体数はわずか 2 経営体となっています。

村の沿岸部はその昔、天然黒松がわずかに生える広漠とした巨大な砂丘で、この地域特有の強風が住民を悩ませ、一夜にして三百余の集落が砂の中に消えた『千々乱風 伝説』が残る地でした。このため、国は砂防林造成事業に着手し、大正 8 年から 30 年以上かけて約 190 ha、221 万本余りの黒松の植林を行い、村は暴風災害から救われました。



白砂青松100選の村松海岸

この事業は、かわだまさる河田杰農学博士が「海岸砂丘造林法」として日本に広め、海岸砂丘の造林施工方式の魁となりました。また、この事業を担った宿・真崎・白方・豊岡の愛林組合は、植栽や造林地の保護に取り組み、現在も故郷の原風景の保全にご尽力いた

だいています。以来、村松海岸の黒松林は林野庁の日本の白砂青松 100 選に選定され、周辺の村松虚空蔵堂や大神宮の名刹とともに、多くの観光客で賑ってきました。

この風景が5年ほど前から大きく変わりました。全国で松くい虫の被害が拡大する中、村の黒松林も次々に枯れ始めたのです。

このため、村では『茨城県海岸防災林機能強化事業』を活用し、沿岸部の事業所と連携した松くい虫防除を実施しました。



真崎古墳群整備事業

また、平成 22 年度には『身近なみどり整備推進事業』を活用し、真崎区の真崎古墳群の里山整備を実施。毎年 8 月開催の『真崎古墳行灯まつり』は、真崎区の中心行事の一つとして定着し賑っています。

今後も、村民の皆様との連携を大切に、森林の機能回復を含めた保全・整備を進めてまいります。



若手の育成と林業の振興を目指して

美和木材協同組合

美和木材協同組合は、昭和 38 年中小企業等協同組合法に基づき、地元製材工場 12 社により設立された組合です。当初は、国有林の受託事業を中心に生産事業、造林事業を実施していましたが、近年は国有林の請負事業のほか、民有林の造林事業、間伐事業、平成 23 年度からは、低質材を活用したオガ粉の製造も始めました。

素材生産作業においては、早くから機械化を推進し、ハーベスタ、ロングリーチグラブ、フェラーバンチャーザウルスロボなど高性能林業機械を導入して、作業の安全と効率化を図っています。作業の機械化が進むにつれて作業員も若返り、作業員全体の平均年齢は 36 歳、林業機械を使う素材生産部門では 30 歳の若さとなっています。



作業道作設と広葉樹伐採で威力を発揮する
フェラーバンチャーザウルスロボ

作業員の育成は、緑の雇用育成対策事業を活用するほか、全国森林組合連合会の補助事業である能力評価システムを導入し、職員の職業能力を公平かつ客観的に評価して、職員のモチベーションを高める仕組みづくりをしています。

当組合では、昭和 62 年から育児用品メーカーであるピジョン株式会社の植樹活動を支援しており、毎年 5 月に開催される「赤ちゃん誕生記念

植樹」や約 90ha の「ピジョン美和の森」の管理を行っています。さらに、東京木場製材協同組合、三菱商事、アサヒビール、(株)棟匠など多くの企業の CSR 活動(緑化活動)にも実働部隊として支援しています。

また、地元有志でスタートした「木の駅プロジェクト美和」の活動に対しては、組織の立ち上げ当初からメンバーとして参画するとともに、出荷された間伐材を買い上げ、オガ粉を製造販売する役割を担っており、出荷者と協力して地域の振興に努めています。市内の小中学生を対象とした森林教室や中高生の職場見学・インターンシップなども積極的に受け入れ、林業に対する理解を深めてもらっています。

近年は、森林内の間伐、皆伐ばかりでなく、住宅周辺の危険木・支障木の伐倒依頼が増加しており、年間数十件に達しています。林業機械はもちろん、吊るし切りなどの技術を駆使してきめ細かな伐採を行い、地域住民の要望に応じています。

当組合では、若者が誇りをもって仕事ができ、林業の振興と地域の発展に少しでも寄与できる組織でありたいと願っています。



機械が使えない場所での吊るし切り

(6) みどりとともに

協会だより

1. 治山・林道関係コンクール審査委員会開催

平成28年8月23日に水戸市において平成28年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催しました。

この審査会は、各コンクール実施要領に基づいて毎年行っていて、今年度は治山工事、林道工事、治山・林道木材使用工事、林道維持管理各コンクール併せて10件が審査対象となりました。

当日は、佐藤信聡林業課長が審査委員長となりコンクールの議長を務め、現地確認の結果や現地写真・採点等を参考に各審査委員の協議により順位を決定しました。

審査結果は次の通りです。

(1) 治山工事コンクール

順位	事業名	請負業者	備考
1	H26 第3-2号 津波防災対策緊急整備 東海村白方	(株)岡部工務店 日立市	中央推薦
2	H26 繰越 第2号 予防治山 大子町下野宮	吉原建設工業(株) 大子町	
3	H26 繰越 第1号 復旧治山 高萩市福平	(株)中井工務店 高萩市	
4	H26 補正 第7号 予防治山 石岡市染谷	(株)日高建材 石岡市	
5	H27 第4-1号 海岸防災林造成 神栖市矢田部	(株)波崎建設 神栖市	

(2) 林道工事コンクール

順位	事業名	請負業者	備考
1	H26 繰越 第4号 奥久慈グリーンライン林道 武生線開設 常陸太田市下高倉町	(株)鈴木組 常陸太田市	



治山工事「津波防災対策緊急整備事業」
(株)岡部工務店

(3) 治山・林道木材使用工事コンクール

【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	H27 第2号 予防治山 大子町下野宮	吉原建設工業(株) 大子町	治山工事



林道維持管理 「照山線」 常陸大宮市

(4) 林道維持管理コンクール

順位	路線名	管理者	備考
1	照山線	常陸大宮市	中央推薦
2	唐竹久保線	大子町	
3	半田線	石岡市	

2.平成28年度日本林道協会通常総会及び 治山・林道コンクール表彰式

平成28年12月1日、東京都内のルポール麹町に於いて、日本林道協会通常総会及び治山・林道コンクールが開催されました。

中央協会のコンクールには、本協会主催のコンクールの中から最優秀なものを推薦した結果、治山工事・林道維持管理の各賞が次のとおり決まり表彰式が行われました。

・治山工事コンクール

◇(一社)日本治山治水協会長賞

第3-2号 津波防災対策緊急整備事業(東海村)
(株)岡部工務店

・林道維持管理コンクール

◇日本林道協会長賞

照山線 常陸大宮市



茨城県の受賞者(右、維持管理・三次真一郎常陸大宮市長、治山工事・岡部工務店柴田営業部長)

『グリーンフェスティバル2016』 が開催されました

平成28年10月30日(日)、常陸太田市・常陸大宮市の「宮の郷工業団地」において、広く県民に森林・林業・木材産業について理解と関心を深めてもらうために参加・体験型イベントとして「グリーンフェスティバル2016」が開催されました。

当日は、約3千人が来場し林業関係各種コンクール表彰式のほか、最新の木質バイオマス発電所、木材から家が出来るまでの工場見学、ミニ上棟式、木のおもちゃづくり、高性能林業機

械の実演などが行われました。

当協会では、平成26年度から測量器械で実際に距離や角度を測ってもらう『測量体験』を行い、今回は、143名の方々に体験していただきました。



測量体験をする子供たち

また、地形・地質・森林等の状況から豪雨等により山地災害が発生すれば学校等の公共施設、道路、人家等に直接被害を与えるおそれがあり、崩壊危険度が基準以上となっている地区を県で調査したものを県内の市町村ごとに、平成23年度より当協会で作製している山地災害危険地区位置図の展示や山地災害防止のパンフレットの配布を行い、山地災害危険地区の周知や地域住民の防災意識の向上、山地災害情報収集体制の強化に協力するために行いました。



山地災害危険地区位置図を見る家族

○ 協会の主な動き ○

7月～12月

- 7月7日～8日
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会
第37回通常総会(北茨城市)
- 7月8日
(公社)茨城県林業協会第2回幹事会(水戸市)
- 7月25日
公有林野全国協議会 通常総会(東京都)
- 8月2日
関東甲静地区 平成29年度治山林道事業
林野庁・中央協会へ要望活動(東京都)
- 8月23日
茨城県民有林治山・林道関係コンクール
審査委員会(水戸市)
- 県関係団体役員等懇談会(水戸市)
- 8月24日
「グリーンフェスティバル2016」
実行委員会第1回総会(水戸市)
- 9月1日
自民党政務調査会「農林水産部会」(水戸市)
- 9月7日
「緑の雇用」現場技能者育成対策事業
林業作業士集合研修の講師(常陸大宮市)
- 9月15日
(一社)日本治山治水協会 理事会・定時総会
(東京都)
- 10月6日～7日
全国治山林道協会会長会議(埼玉県)
- 10月9日
第40回全国育樹祭(京都府)
- 10月18日
第2回理事会(水戸市)
- 茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議
(水戸市)
- 10月30日
グリーンフェスティバル2016
(常陸太田市・常陸大宮市)
- 11月7日～8日
役員現地研修会(富山県)
- 11月13日
もりもくフェア(那珂市)
- 11月14日
平成28年度茨城県表彰式(水戸市)
- 中小企業連携組織の役割を考えるシンポジウム
(水戸市)
- 年末調整説明会(水戸市)

- 11月16日
茨城県農林水産業関係団体連絡会
県選出国會議員との懇談会(東京都)
- 11月17日
(公社)水戸法人会
社団化40周年記念式典並びに講演会(水戸市)
- 年金委員・健康保険委員研修会及び表彰式
(水戸市)
- 11月25日
「グリーンフェスティバル2016」
実行委員会第2回総会(水戸市)
- 11月27日
第13回みどりの羽根チャリティゴルフ大会
(常陸大宮市)
- 12月1日
日本林道協会 通常総会
治山・林道コンクール表彰式(東京都)

今後の予定

- 1月11日
明日の茨城づくり新春の集い
- 1月19日
全国治山林道協会会長会議
民有林振興会 総会・セミナー
- 1月23日
林業活性化セミナー
- 1月24日
平成29年林業団体合同新年の集い

「みどりとともに」

(年2回 発行)

一般社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 三次真一郎

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「酉年を迎えて未来へ羽ばたく」
(那珂市古徳地内) 神長輝夫氏 撮影